

# はもりあだより

Vol. 13  
2024.6

6/23  
(日)

10:30~12:00(開場10:00)

四日市市文化会館 第2ホール

三重県内男女共同参画連携映画祭 2024



© Black Ticket Films



女性記者たち  
燃えあがる

入場  
無料

6月4日(火) 9時~整理券配布

配布場所:はもりあ四日市・市民生活課(市役所5階)・あさけプラザ

右記申し込みフォームからでも可(お一人1フォーム)



男女共同参画  
週間

「男女共同参画社会」とは「男女が、互いにその人権を尊重しつつ喜びも責任も分かち合い、性別にかかわりなく、その個性と能力を十分に発揮することができる社会」です。毎年6月23日から29日までの1週間を「男女共同参画週間」として、様々な取り組みをしています

三重県内では、男女共同参画を考える映画作品の上映を通して、「男女共同参画」を身近に感じていただくため、県域全体で連携映画祭を開催しています

# すでにはじまっている未来と日本の今

講師 若宮正子さん（ITエバンジェリスト）

3月10日（日）、本町プラザにて、ITエバンジェリストの若宮正子さんを講師にお迎えし、はもりあフェスタエンディング講演会を開催しました。

若宮さんが自身の人生を振り返りながら、男性中心社会の中でどのように考え、どのように社会参画をしてきたかについて明快に語っていただきました。

若宮さんが銀行に就職したときは、お札を指で数える、計算はそろばんでするといったように仕事はほぼ手作業であり、手仕事をすばやく、正確に、黙々とやることが評価されていたため、もともと不器用だった若宮さんは社内で「お荷物」という評価でした。しかしその後、紙幣計算機の導入が進み、銀行の業務が多様化する中で、業務企画部門に所属することになり、企画・提案が得意な若宮さんは、「お荷物」ではなくなりました。そして70年経った今は「世界最高齢のアプリ開発者」と称され、数々の政府主催会議の構成員も務められています。このように、「社会情勢や技術の変化でどんな能力が評価されるかは変わっていくため、人の評価はあまり気にしきれないことが大切」とご自身の経験から得た気づきを教えていただきました。

また、ご自身のことを「あたらしがりや」「おもしろがりや」と表現し、「あまり難しく考えず、いくつになっても自分が知りたいことを勉強したらいい」と訴えました。

元々パソコンを極めるという目的ではなく、オンライン上で知らない人と交流をしたいという想いで、定年前にパソコンを購入した若宮さん。家で母親の介護をしながら、オンライン上で友達とつながることで、孤独を感じなかったといいます。「私はインターネットから翼をもらいました。その翼は私をおばあちゃんの枕元という狭い世界から、広い世界に連れて行ってくれました。病気や足が不自由などの理由で外に出かけられない人こそ、インターネットで多くの人とつながりましょう。」と参加者に呼びかけられました。

インターネットを活用することは、高齢者には向きだと思われがちですが、SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）を利用した孤独対策や、災害時の情報伝達にもデジタルが活用できることを教えていただきました。

最後に、「私はまだまだ未熟ですが、生きている間は、少しでも学んで成長していきたい」と、いくつになっても前向きに学ぶ姿勢を示して講演会を締めくくられました。

講演後には、参加者から「自分の好きなことの見つけ方」を質問され、「常に周りにアンテナを張り、興味があるものを探していくこと。そしてそれを受け止める好奇心を持つと世界が広がっていきます。感情や気持ちの高ぶりを否定せずに受け止めましょう。」とお答えになりました。

88歳というご高齢ながら、1時間半、前向きに成長し続ける生き方を語り続けたパワーあふれる講演に会場からは盛大な拍手が送られました。

参加者からいただいた、終了後のアンケートでは、「高齢者だからITは難しいという先入観が消えた」「自分の興味を追求する気持ちをなくさず、学び続ける勇気をいただいた」という好評の声をいただきました。

今後もはもりあフェスタなどで、男女共同参画について皆様に考えていただける機会を提供し続けたいと思っています。



## <プロフィール>

58歳からパソコンを独学で習得。2017年ゲームアプリ「hinadan」を公開。これにより米国アップル社CEOよりWWDCに特別招待された。2017年より数々の政府主催会議の構成員を務める。『昨日までと違う自分になる』など著書多数



# 「男女がいきいきと働き続けられる企業」インタビュー



社会福祉法人 日の本福祉会

四日市市では、「安心して子どもを産み、育てられるまち」の実現の推進を目的に、男女がいきいきと働き続けることができる環境づくりを推進している事業所の表彰を実施しています。

今回、令和5年度受賞企業の「社会福祉法人 日の本福祉会」職員の伊藤さんと平田さんにお話を伺いました。



## 性別によらない採用、多様な人材の確保

人材の確保が難しいと言われる保育業界において全国平均を大きく上回る15%が男性ということですが、もともと男性が多い職場だったのでしょうか

平田さん：前身が塾を経営しているところから始まり、そこから今の保育園や学童事業という風に、社会福祉法人として運営させていただいているので、元々、男性職員もある程度多くスタートしています。性別によらない採用で、保育士というと女性が多くなるのですがけれど、学童の職員は、保育士に限らず、異業種からの転職など多様な経歴をもつ人が活躍しているのも男性の応募が多い要因かと思います。



### 採用時、募集の工夫とかあるのでしょうか

伊藤さん：実は、私も一般的な学童保育や保育園の取り組みという形であれば、応募しなかったと思う一人として、当法人で、学童分野になるのですが、例えば理科実験などの当法人独自の取り組みに力を入れておりますし、私も理科実験の担当者として就職させていただきました。幅広く、様々な子どもたちに対する事業の取り組みがそのまま多様な人材を採用することに繋がっているのではないかと思います。

## スケールメリットを生かした業務体制やICT化の取り組み

有給の取りやすさなど、子育てしながら働きやすいように工夫されていることはありますか

平田さん：ひとつは、お子さまをお預かりする仕事ですので、職場の理解はすごくあるなと感じています。それからみんなで助けあおうというところです。あとは、スケールメリットを活かして、フォローできる体制、つまり代われる人材がいることが大きいですね。人員を確保して適正な業務量になるようにしています。



### ICT化による業務の効率化について、具体的にどのような取り組みですか

伊藤さん：一般的なICT化とは程遠いかもしれません、紙媒体やTEL、FAXが主流といった体制をデジタル機器へ置き換えることで、少しずつ手作業から脱却していくのが目標です。例えば、子どもたちの登所時、2次元コードを使用して入退室を記録することで、事務作業を簡略化し、人手を減らして休みを取りやすくする、またアプリを使って全職員がリアルタイムでやりとりできる体制を整え、情報の伝達が滞らないよう工夫しています。

## 「働きつづける」ために大切なこと

### 最後に「働き続けられる」ために大切なことは何ですか

伊藤さん：長く働くうえで一番大切なことは、仕事を無理なく行っていることだと思います。自分のキャパシティを超てしまふと、どこかしら身体に不調が出たり、精神的に弱ってしまうこともあると思います。ですので、自分にあった仕事を、自分の能力の範囲内でしっかりと適切に行えているということが一番大きなことがあります。



平田さん：今子育て中で、時短勤務で事務中心の仕事をさせてもらっていますが、産休、育休の制度がしっかりしているというのもここを選んだ理由です。小さな職場だと、代わりの人材確保が難しいこともあると思うのですが、ここは、成長を続けていて、人数も増えて組織が大きくなっているので、安心して復帰できる。働き続けられる組織としてできていると思います。これからもいきいきと働き続けたいと思います。

# はもりあ四日市相談室のご案内

女性の相談員による

## 女性のための電話相談

火・木・金・土曜日 9:00~16:00  
水曜日 9:00~19:30

専用電話 **059-354-8335**

★市内に在住、通勤、通学する女性なら、どなたでも利用できます。

★お一人30分程度

★無料(通話料がかかります) ★秘密は厳守

相談時間が変わりました

男性の臨床心理士による

## 男性のための電話相談

原則毎月第4土曜日 9:30~12:30

専用電話 **059-354-1070**

★市内に在住、通勤、通学する男性なら、どなたでも利用できます。

★お一人30分程度

★無料(通話料がかかります) ★秘密は厳守



## 「女性のSNS相談よっかいち(たよりス)」

不安定な社会情勢の中で、孤独・孤立で不安を抱える女性に対して、SNS相談の窓口を開設しています。女性の相談員が、LINEを活用し、女性が抱えているさまざまな心配事や問題について相談をお受けします。

相談受付は随時、  
返信は9:00~12:00、13:00~16:00です。  
(※12/31~1/3は休み)

※本事業は、NPO法人三重はぐくみサポートが  
四日市市より受託し運営しています



## 「シングルマザー等のための家計相談」

シングルマザーや離婚を考えている人のために、家計や教育費などお金に関する様々な悩みについて相談できる窓口を開設しています。

相談実施日：毎月第1土曜日  
※ただし5月のみ25日開催  
9:00~12:00(1回/60分)  
※事前予約優先。

対面もしくはオンライン相談。

### 事前予約は

平日10:00~18:00

☎059-355-1320

または下記コードから  
お願いします



## 「働く女性、働きたい女性のための相談」

キャリアカウンセラーが、適職診断及びキャリアカウンセリング、仕事や家庭の両立に関する相談などをお受けします。

対面相談：第2土曜日

9:00~12:00、

13:00~15:00

オンライン相談：

第2水曜日 13:00~16:00

第4水曜日 17:00~20:00

### 事前予約は

平日9:00~17:00

☎0120-976-477

または下記コードから  
お願いします



※本事業は、株式会社ファーストステップが  
四日市市より受託し運営しています

## 四日市市男女共同参画センター はもりあ四日市



〒510-0093

四日市市本町9-8 本町プラザ3階

開館時間 9:00~21:00  
(日・月曜日・祝日休み)

[TEL] 059-354-8331

[FAX] 059-354-8339

[Eメール] kyoudousankaku@city.yokkaichi.mie.jp



### 本町プラザと駐車場のご案内図

